

学校教育目標

自ら学ぶ意欲をもち、豊かな心でしなやかに生きる力と行動力を持った子どもの育成

研究でめざす子ども

根拠を明らかにし、筋道を立てて考えることができる子ども。

言葉や数、式、図、表、グラフ等の相互の関連を理解し、それらを適切に用いて問題を解決することのできる子ども。

自分の考えをわかりやすく説明したり、互いの考えを伝えあったりすることのできる子ども。

平成 23 年度研究主題

筋道を立てて考え、表現する子どもを育てる算数科学習指導

—算数的表現を用いた説明をひき出す工夫を通して—

共有化

理論研修  
実技研修

日常化

ノート交流  
模擬授業

協働化

全学級授業公開  
ワークショップ型協議会

手立て 1

自力解決の場での、算数的表現を引き出すためのノート指導

- ・ 見開き1ページに書かせる。
- ・ モデルを提示する。
- ・ 算数的表現を用いて考えを書かせる。
- ・ 授業の中で〇つけ指導を行う。
- ・ 個別評価を行う。 等

手立て 2

交流の場での、話し手の子どもの発言につなげて、聞き手の子どもの発言をひきだしていくための教師の支援

- ・ 複数の算数的表現を関連付けて子どもに問い返す。
- ・ 子どもの発言をつなげ多くの子どもに説明させる。
- ・ 復唱法を取り入れる。 等

手立て 3

終末の場での、全ての子どもがわかったことや考えたことを説明する場の設定

- ・ 二人組やグループで説明させる。
- ・ 考えやしたことやわかったことをノートに書かせる。
- ・ 書きだしやキーワードを指定してまとめを書かせる。等

平成 23 年度 主題研究 年間研修計画

4月	・ 本校の学力実態・目指す子ども像の共通理解	9月～12月	・ 全体授業研究②③
5月	・ 研究主題の設定と共有化		・ 検証授業（全員1回の研究授業）
	・ 理論研究	1月～2月	・ 研究のまとめ作成
6月	・ 全体授業研究①（提案授業）	3月	・ 研究の総括と次年度の方向性
7月～8月	・ 理論研究, 教材研究 等		